



富山アラート発令中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年8月4日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第30週分・7月26日～8月1日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月1日時点で935,886例となり、15,197例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は首都圏だけではなく多くの地域で増加し、感染が急速に拡大しています。7月31日期限であった緊急事態宣言は8月31日まで延長され、対象が6都府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置は隣県の石川県を含む5道府県で実施されています。

県内の今週の新規感染者数は151例報告され(図;棒グラフ)、8月1日時点の累積感染者数は2,307例になりました。7月に入り新規感染者数が増加傾向にあることから、県は7月28日に4回目の感染拡大警報「富山アラート」を発出しました。さらに、8月5日から警戒レベルはステージ2へ引き上げられる予定です。県外での感染が疑われ、職場や家庭内で感染が広がった事例が複数認められています。更なる感染拡大を防ぐため、県境をまたぐ不要不急の移動は自粛し、緊急事態宣言等の感染拡大地域からの移動は慎重に検討しましょう。

衛生研究所では、6月上旬からデルタ株を検出するためのL452R変異検査を実施しています。7月中のL452R変異検査件数は140例で、そのうち陽性例は43例(30.7%)でした。その内、ゲノム解析を実施できた11例全てがデルタ株でした。変異株に対しても、感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。デルタ株による感染拡大を防ぐため、引き続き高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

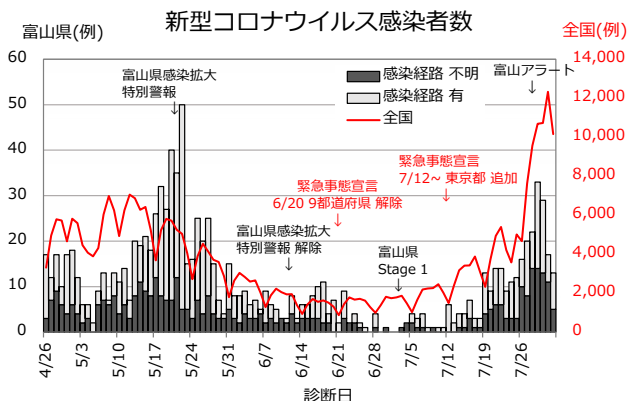
《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 151件
- 二類感染症 結核 2件 (①80歳代、女性 ②90歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (70歳代、女性、O157、VT1)
- 四類感染症 A型肝炎 1件 (70歳代、男性)
- レジオネラ症 1件 (70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 ウイルス性肝炎 1件 (40歳代、男性、B型)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第29週診断分:90歳代、女性、G群)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	2.93 (↓)	3.21
2位	感染性胃腸炎	2.45 (↑)	1.76
3位	突発性発しん	0.34 (↑)	0.14
4位	咽頭結膜熱	0.24 (↓)	0.45
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24 (↑)	0.21
6位	ヘルパンギーナ	0.17 (↑)	0.14

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>
お問い合わせURL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第30週 令和3年7月26日～令和3年8月1日）

分類	疾患	今週報告分（第30週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	17	7	63	15	46	3	151	143	145	464	118	834	38	1,742
二類感染症	結核			1	1			2	8	6	23	12	30		79
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1				1			5	1	2		8
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	A型肝炎	1						1	1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症				1			1	1	3	8	1	5		18
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎					1		1	2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	2	2		5
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										3	1	2		6
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	4		14		20
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症		4	1	37	33	10		85	124	120	1,512	241	794		2,791
		1.00	0.33	4.63	8.25	1.00		2.93							
咽頭結膜熱		1	2			4		7	31	36	131	6	135		339
		0.25	0.67			0.40		0.24							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2	2	3		7	60	37	428	81	205		811
				0.25	0.50	0.30		0.24							
感染性胃腸炎		15	12	23	2	19		71	536	280	460	175	1,088		2,539
		3.75	4.00	2.88	0.50	1.90		2.45							
水痘					1	1		2	1	6	24	7	29		67
					0.25	0.10		0.07							
手足口病									6		10	1	11		28
伝染性紅斑						3		3		1	7	1	19		28
						0.30		0.10							
突発性発しん		2	1	5		2		10	40	23	104	44	93		304
		0.50	0.33	0.63		0.20		0.34							
ヘルパンギーナ		2		2		1		5	21	1	5		8		35
	0.50		0.25		0.10		0.17								
流行性耳下腺炎					1		1	2	2	6	5	11		26	
					0.10		0.03								
流行性角結膜炎										1				1	
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	7	1		9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8		9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。